

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員に対して、スペースは十分あります。その日の利用者さんの動きによって部屋の配置を変えて対応しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			それぞれの利用者さんが支援を十分に受けられるように、配置されています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか	○			全室バリアフリーです。トイレも座位が不安定な方でも補助をして座れるように工夫してあります。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			それぞれの利用者さんについて、開所前、閉所後の時間に日常的に職員で話し合っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者にも評価を願ひし、ホームページ上に公開してあります。業務改善につながるようチームで検討しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPにて公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	検討中です。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部の研修に積極的に参加させていただいています。今年度もZOOMにて研修に参加しています。研修の内容を職員で共有しています。施設内研修も年に数回行い、職員のスキルアップに努めています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			契約、体験の際には保護者から細かく利用者さん、ご本人を取り巻く関係について聞かせて頂いています。面談で家庭での状況を得て、支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			重心の利用者さんに適したツールを使用し、アセスメントさせていただいています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			スタッフで提案しあって、活動プログラムを考えています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			体を動かすこと、制作、季節を感じる、感触遊びなどバランスを考えながら療育を行っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			その日の利用者さんの利用時間や調子をみながら、課題に取り組んでいます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			その日の利用者さんの体調などを考慮し、療育を変更したり、個別にしながらか対応しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝必ずミーティングをしています。利用者さんの体調の変化、前日の様子なども情報共有しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			送り出しや清掃などで時間がない時には、朝のミーティングで前日についても話をしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			職員同士で記録物を確認し合っています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングに応じて、計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			体を動かすこと、制作、季節を感じる、感触遊びなどバランスを考えながら療育を行っています。

	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		その会議にふさわしい者(児童発達支援管理責任者、保育士、看護師など)が参加しています。
関係機関や保護者との連携	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校からの引き渡し時に、情報共有しています。特に話し合いや共有が必要な事案に関しては、学校と密に連絡を取り合い、情報を共有しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連携体制を整えているか	○		医療的ケアのある利用者さんには必ず主治医に「医療的ケアに関する実施申請書」に記入していただき施設と必要な連絡がとれるようにしています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		児童発達支援ででらび～を使っていた利用者さんは、過去の記録物や当時の担当から情報を得たり、家庭と連携をとっている。みはら園とも適宜連携をとっている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービスに事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供等しているか	○		卒業される利用者さんのほとんどが当法人の生活介護に移行されるため、各事業所に情報提供しています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		日常的に富士市立発達センターに相談させていただき、助言を受けています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	なかなか障害のないお子さんと一緒に活動する機会が作れていません。今年度もコロナ禍ということもあり、外部との活動は控えていました。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		現場の状況をみながら、できる限り参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		その日に支援をしたスタッフから直接その日の状況を保護者に伝えていきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		送迎時など保護者とのコミュニケーションをしっかりと、必要に応じて面談をしています。グループ面談に繋げたり、相談に連絡したりなどしています。
	保護者への説明責任	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	
㉛		保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からの相談などは、いつでもお受けしています。
㉜		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、大人数では開催できませんでした。少人数でのグループ面談として保護者同士の連携を支援していきたいと考えています。
㉝		子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		児童発達支援管理責任者が苦情を解決しています。
㉞		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連携体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		「でらび～だより」を発行し、情報を発信しています。
㉟		個人情報に十分注意しているか	○		注意して扱わせていただいています。他機関との情報共有のため、同意書をいただいています。
㊱		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		利用者さんとはもちろんですが、保護者ともしっかり情報伝達するために、連絡帳を使ったり、必要な場合は電話や面談をお願いしています。
㊲		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		毎年ボランティアで地域の方が事業所に来て下さったり、祭りに地域の方がきてくださったりしていましたが、現在は新型コロナの影響で外部との交流は控えています。
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		いつでも誰でも見られるところに置いてあります。今後周知できるように検討していきます。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月に1回の避難訓練を行っています。避難訓練の他、低電子の防災訓練、非常食の防災訓練などを行っています。今後は訓練の様子なども周知できるようにします。

非常時などの対応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			施設内の職員研修で行っています。事業所内のグループ別に行っている実践研究としても取り組んでいます。外部の研修にも参加させていただいています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束は行っていません。車イスに乗っている時間や同一姿勢でいる時間を短くし、体位交換を行っています。今後、安全上身体拘束を行う場合は保護者に同意を得て行います。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食物アレルギーのある方は、検査結果に基づく医師からの指示書を提出していただき、調理師のできる範囲の除去食を提供させて頂いています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットは全スタッフで振り返りを行っています。